

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいりますので、保護者のみなさんのご理解ご協力を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【 国 語 】	【 数 学 】	【 理 科 】
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>A(基本)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>B(応用)</p> </div> </div> <p>全体的な状況 国語A「読む能力」についての問いでは全国平均まであと0.1%と迫った。また国語Bでは、「話す・聞く能力」についての問いでは全国平均を1%上回った。また他の項目でも、府平均を上回るものが見られたので、基本的な学力は定着していると言える。無回答率に関しても、概ね全国平均より低く、問題を解く意欲も高い。</p> <p>成果 ・行書の基礎的な書き方を理解している。・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができる。 ・文学的な文章において、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容理解ができています。</p> <p>課題 ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う力が弱い。 ・文章の構成や展開について、自分の考えを持ち、相手に伝える力が弱い。</p> <p>課題解決に向けた取組み ・自分たちで集めた情報をもとに、自分の考えをクラスの他の生徒に対しわかりやすく説明するような授業を展開する。 ・語句の意味を正しく理解し、文脈の中で適切に使えるように、語句の意味調べや短文作りをする機会を増やす。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>A(基本)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>B(応用)</p> </div> </div> <p>全体的な状況 概ね全国平均と同等かやや上回る結果であり、課題とされていた記述式の問題についても改善が見られる。一方で、学習内容が定着していない面も見受けられ、家庭学習も含めて課題が残る。</p> <p>成果 A問題の「図形」「関数」「資料の活用」領域で全国平均を上回り、「関数」「資料の活用」領域では全国平均を5ポイント以上上回っている。また「数と式」領域での計算分野もほぼできており、基礎基本の分野に関しては学力の定着がはかかれている。</p> <p>課題 絶対値の意味を問う問題や連立方程式の計算方法など、学習したことの意味が定着しきらずに間違っている項目が複数あった。 B問題の各領域および記述式問題の正答率は、全国平均とほぼ同じ水準であるが、図形やグラフから情報を読み取る力に課題が残る。</p> <p>課題解決に向けた取組み 現在実施している授業開始時の復習問題への取り組みを継続し、少人数授業による学習の定着をはかることで、全体的な学力の底上げを目指す。記述式問題をはじめとする応用力や論理的思考力を必要とする問題に触れる機会を増やし、入試をふくむ進路選択に活かせる力をつけていく。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>A(基本)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>B(応用)</p> </div> </div> <p>全体的な状況 ・実験・観察の技能について、正答率が高い。普段の授業での実験・観察への取り組みが積極的であると思われる。 ・記述式の問題の正答率が低く、無回答率も高い。</p> <p>成果 ・自然現象への意欲・関心が高く、どの領域においても基本的な知識は身に付いている。</p> <p>課題 ・科学的な思考・表現の問題の正答率が全体的に低い。また、自然現象についての知識・理解の問題についても、一部低いところがある。</p> <p>課題解決に向けた取組み ・身近な現象を授業に多く取り入れたり、視聴覚教材を使用して興味・関心を引き出す。 ・生徒たちが自由に意見を言い合う中で、問題が解決できるような授業展開を実施する。 ・記述式の問題になれさせるための演習の時間を設定する。</p>

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国
自分には、よいところがあると思いますか	84.7	72.7	78.8
授業や課外活動で地域の事を調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	75.8	59.2	68.7
生徒の間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	78.2	69.2	76.3

全体的な状況
59項目の質問中、35項目で全国平均を上回る肯定的で前向きな回答となりました。各教科では相互評価の場面設定をし、個々の考えを深めることができています。また地域や世界で活躍される方と接する機会をもつことで、学習することの意味を知り意欲の向上が結果に結びついています。

成果
・朝読書から始まり落ち着いた学習環境の中、個々の学習意欲の向上がみられる。
・授業中に話し合いの活動を取入れることで、他者の意見を受け入れながら、自分の考えを深め、広げることができています。

課題を残した主な項目	本校	府	全国
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	87	88.7	90.3
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	54.1	45.5	55.2
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	55.7	62.7	73.6

課題
・決まった時刻に起床できない生徒が半数おり、規則正しい生活習慣の確立が求められる。
・家庭での予習・復習の定着が不十分であり家庭学習の時間がなかなかとれていない。
・地域や社会で起っている問題に関心をもっているが、ボランティア活動へ触れる機会をつくれていない。

課題解決に向けた取組み
・ご家庭での生活習慣について、お子様とのルールづくり、改善・実行をお願いいたします。
・自主学习ノートの取組みに、家庭学習プリントを併用し定期的に家庭学習テストを実施し到達度を把握する。
・グローバル化する社会へ関心を持つために、ボランティア活動等に触れる機会をつくる。

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

今年度(平成30年度)から全学年で朝読書を実施し、落ち着いた雰囲気の中学校生活をスタートできています。また、各教科や総合学習の取組みで地域の方や世界で活躍する方と接する機会をつくりました。その結果グローバルな思考を持てるようになり、客観的に自分をみることで、相互評価から自分の良さを発見し自己肯定感・自己有用感を高められています。自分に自信をもつことが学校生活で前向きに取り組む姿勢を生み出し、学力状況調査では全ての教科で大阪府の平均を上回り、半数以上が全国平均を超えることになりました。ただ、記述形式「伝える・説明する」の弱さは課題として残りました。今後、さらにグローバル化・AI化する社会を生きぬくために、「伝える・説明する」力そして「課題を見つけ・課題を解決する」力が求められています。

本校ではこれらの力を伸ばすために「主体的・対話的で深い学び」を授業で実践し、子どもたちの思考の流れに 疑問⇒納得 をつくり、学びの質の向上を目指します。塾での学習も増えていますが、家庭学習を定着させることでより深い学びが生まれます。ご家庭と学校とで連携し新しい時代に求められる力を育成できるよう、保護者の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。